

オングル島見聞録 その4

～第58次日本南極地域観測隊に同行して～
奈良県立青翔中学校・高等学校 教諭 生田依子



アデリーペンギン 昭和基地内を疾走

ある日、宿舎の前を何かが通りすぎました。なんだろうと、見に行くと、何とアデリーペンギンでした。アデリーペンギンには5m以上近寄ってはならないと決まっていますので、距離を取りながらついていきました。ペンギンもびっくりして、疾走します。意外と速いのです。私が小走りするくらいの速度で走りました。

無事に基地から出て、氷の海へかえりました。アデリーペンギンは、海氷の多いところで営巣するため、海氷上を歩くことが多く、足が強く、かつ早いのです。



生田も海氷上を疾走？

凍り付いた海は、歩くことができます。しかし、クラックなどがあって、危険なので、写真のような「ゾンデ棒」(けっこう重たい)を、海氷にザクザクと差し込み、底が抜けていないか、確認して進みます。奥にみえるしらせまで行きます。



海氷上のパイプで燃料輸送

しらせは毎年約1000トンの物資を運んできます。その6割は昭和基地の発電機に使う燃料です。写真のように、パイプをしらせから基地の貯油タンクまで、約2kmもつなぎ、輸送します。今年は発電機用燃料は577kLでした。昭和基地では徹底した省エネに取り組んでいますが、安定した自然エネルギーの開発が期待されます。本校、中学3年生と高校1年生の微生物発電班の研究は南極でも成功し、世界初の結果を出しました。南極の土壌でも発電することを示しました。来年度には学会発表の予定です。



昭和基地の一日

起床 6:30
朝食 6:30～7:30
朝礼(ラジオ体操) 7:45～7:55
作業 8:00～11:30
(中間食おやつ休憩 10:00～10:15)
昼食 12:00～12:45
打ち合わせ 12:45～13:00
作業 13:00～18:30
(中間食おやつ休憩 15:00～15:15)
(休憩 17:00～17:15)
夕食 19:00～19:45
打ち合わせ 19:45～20:00
日によって残業 20:00～22:00ごろ

1のつく日は休日

夏期間中は1月22日まで、太陽が沈まない白夜のため、規則正しく生活をして、体のリズムを崩さないようにしています。

また、食事は日本から食材を持ちこむため、日本と変わらない食事をします。季節感を忘れないように、行事は盛大に祝います。写真上は元旦のおせち、写真下はある日の昼食です。

金曜日はカレーで、9のつく日は肉の日でステーキがです。

